

令和元年度 大田区三医師会認知症検診について

目的：現在、認知症の方は厚生労働省の調べによると 462 万人と推計されている。また、認知症の方は予測を上回るペースで増えており、2025 年には 700 万人を超えるとされている。大田区においても高齢者人口の割合は 22.4%と年々増加しており、大田区三医師会ではより早期に発見・治療に繋がるように独自に検診を実施してきた。さらに今回の検診結果を研究・発表し、今後の大田区認知症検診に繋げていく。

対象：認知症検診を希望する 65 歳以上の区民
※令和元年度より、年齢の上限を撤廃

方法：MMSE を実施する。
(MMSE は世界でも最も普及している認知症スクリーニング方法である)
*Folstein MF et al.J Psychiatr Res,12:189-198(1975)
その他として、TOP-Q 実施、家族アンケートを介護者・ご家族に実施。

説明書（倫理的配慮）：本人または家族に書面にて同意を得る。

倫理的検討：大田区三医師会倫理審査委員会に審議を依頼する。

判定と紹介：MMSE のカットオフ値は 23/24 点（23 点以下を認知症疑い）として、検診陽性者は本人の同意を得た上で、自院にて精査・治療、もしくは大田区認知症連携パスを用い、二次もしくは三次連携医療機関に紹介する。

実施期間：令和元年 7 月～12 月

目標対象数：各医師会 1,000 例 合計 3,000 例

受診者への通知：認知症検診実施日に返還する。